

強くて大きい友の会づくりへ

機関紙「健友」を活動の中心に

2003年度健友会友の会総会

二〇〇三年度健友会友の会総会が六月四日、中野サンプラザで開かれまし

た。この日の総会には役員六〇名と職員四名が参

加。また、健友会副理事長の伊藤浩一医師、東医

研の伊藤典子社長、モンドフゴン中野の郷の桃田

数重副理事長が来賓として参加されました。

健友会友の会ができて五年目のことしの総会は、中野・杉並で「安心して住み続けられるまちづくり」運動をすすめていくために、地域の中に強くて大きい友の会組織をつくっていくことと、友の会活動の中心に機関紙「健友」を位置づけることを中心にした活動方針が提起され、たいへん活発な意見交換がなされました。

「健友」の手配りについては、「どの丁目」にどのくらいの配布量になるのか、地図落としをはじめ、「たいへんだけれど、決まったことならやろう。月刊になっても配ろう」と話し合った。配れない人の分もなんとか

体制をとろうと相談している「手配りの中で会員さんの要求を聞いた、友の会運動に参加してもらえよう」と話された。強くて大きい友の会を地域につくっていく活動については、各友の会でも役員会の論議が始まったばかりで、今後

呼びかけられました。配がある」など、各友の会の話し合いの状況が、つきつきと話されまし

た。新しく選ばれた健友会友の会の四役は、以下のとおりです。

- 会長 小池賢次郎氏
- 副会長 伊藤 賢二氏
- 事務局長 藤井 正彬氏
- 事務局次長 高橋 力氏

安定した経営構造へ

専務ら理事14人が交替

健友会第40期 第6回評議員会

健友会の第四〇期第六回評議員会が五月三十一日、東京土建中野支部会館で開催されました。

今回は第四〇期最後の評議員会として、二〇〇二年度の決算関係とあわせ、第四期役員承認

を行いました。議案の提案のうち協議に入り、短い時間でした

が、かみあった真剣な討論がなされました。二〇〇二年度決算については、診療報酬の改悪や医療改悪による患者減

が、かみあった真剣な討論がなされました。二〇〇二年度決算については、診療報酬の改悪や医療改悪による患者減

益はほぼ予算どおりの一億二七〇〇万円が確保され、そのための職員の奮闘が評価されました。

しかし、顧問公認会計士の決算調査所見では、野共立病院建て替えの課

題については適当な土地の確保とあわせ、病院建設を支える安定した経営構造の構築、医療構想と経営の統一の追求が必要

条件となっています。第一期の法人の管理運営、および理事・監事の候補者については、後継者養成・世代交代を意識した理事会構成として、三五名中一四名の理事が交替しました。中でもとくに大きな変化は専務理事の交替で、未廣進専務に替わり入江徹副専務が専務に就任しました。

（藤井正彬評議員）



機関紙「健友」の手配りについて発言が続き...

決算・予算を含め、総会の全議案が満場一致で採択されました。

（高橋力事務局次長）

*

初日は七時間ほどかけて、東北道から山形道を通り鶴岡市内を見学後、山形県湯の浜温泉をめざしました。道中、バスから見える山々には五月だというのにまだ雪が残っており、車内から歓声が上がりました。日本海に面して建つ、湯の浜ビュー海のホテルに着すると、早速大浴場へ。穏やかに広がる日本海を眺めながら、温泉を楽しみました。宴会では仲居さんの暖かいサービスで花笠音頭を教

えていただきました。第二部では、会員の戸上信さんによる泥鰌すくい「安来節」を拝見しました。その臨場感あふれる踊りは、まるでほんとうに泥鰌があはれているように、みんな大いに笑いました。また、コーラスサークルの中山義徳先生演奏によるタンゴの名曲に聞きほれ、先生の指導と伴奏で昔懐かしい歌をみんな元気よく歌いました。とても楽しい総会でした。



五月二六日(月)〜二七日(火)、杉並の三診療所友の会の合同旅行が、総勢三十七名の参加で行われました。出発時には不安定な空模様でしたが、結局雨に濡れることなく、気候もちょうどよい一日間でした。

五月二六日(月)〜二七日(火)、杉並の三診療所友の会の合同旅行が、総勢三十七名の参加で行われました。出発時には不安定な空模様でしたが、結局雨に濡れることなく、気候もちょうどよい一日間でした。

（伊南美則）

新しい役員がズラリ



7月のおもな行事予定

- 1日(火) 法人/常任理事会 共立/代表委員会
- 2日(水) 川診/健康講座 共立/職場交流(リハビリ室)
- 7日(月) 「健友」17号院所おろし 友の会/四役会議 共立/食事会合同旅行
- 8日(火) 桜山/食事会
- 9日(水) 共立/定例協議会 沼診/歩こう会 城診/役員会 桜山/役員会
- 10日(木) やまと/役員と職員の懇談会 共立/役員会 やまと/三役会
- 14日(月) 法人/友の会/定期協議会
- 16日(水) 城診/健康講座 天沼/役員会
- 17日(木) 沼診/役員会 やまと/役員会
- 18日(金) 「健友」編集委員会 川診/三役会
- 19日(土) 法人/常任理事会 西荻/食事会
- 22日(火) 法人/診療所事務長会議
- 23日(水) 沼診/食事会 西荻/役員会
- 24日(木) 法人/理事会 川診/役員会
- 25日(金) 桃井/役員会
- 26日(土) 友の会/幹事会
- 28日(月) 西荻/友の会総会

各友の会のサークル活動

- 共立友の会(問い合わせ先3386 9139)
 - 囲碁・将棋 第2・4(土)13:00~16:00
 - カラオケ 第2・4(土)13:00~
 - コーラス 第1(土)14:00~
 - スケッチ 第2(土)
 - 書道 第2・4(木)か(金)10:00~
 - フラダンス 第1・2(水)16:30~
 - 日本舞踊 7月は13日・20日・25日の13:00~
 - 大正琴 第3(金)13:00~15:00
 - 手芸 第4(金)14:00~
 - 映画鑑賞 第4(水)13:30~
- 沼診友の会(問い合わせ先3387 3424)
 - 歩こう会 7月9日(水)
- かわしん友の会(問い合わせ先3372 4438)
 - コーラス 第2・4(土)15:00~
 - 手話ダンス 第1・3(金)、第2(水)の13:00~
- 城診友の会(問い合わせ先3381 5105)
 - ウォーキング 7月19日(土)
 - 手話ダンス 7月23日(水)・30日(水)
 - 絵手紙 7月25日(金)
- やまと診友の会(問い合わせ先3339 5640)
 - うたごえ 毎週(木)10:00~12:00
 - 折紙 第3(木)14:00~16:00
 - シネマ 第3(火)14:00~16:30
- 桜山友の会(問い合わせ先3369 0900)
 - コーラス 第3(火)10:30~12:00
 - 習字 第3(水)14:00~16:00
 - 俳句 第3(土)9:45~12:00
- 西荻診友の会(問い合わせ先3333 5434)
 - うたごえ 第1・2(水)、第4(火)年3~4回
- 天沼診友の会(問い合わせ先3393 1866)
 - 囲碁 7月14日(月)・28日(月)

病院診療所



友の会

「満足度3倍」の合同旅行

西荻窪診療所友の会 天沼診療所友の会 桃井診療所友の会

五月二六日(月)〜二七日(火)、杉並の三診療所友の会の合同旅行が、総勢三十七名の参加で行われました。出発時には不安定な空模様でしたが、結局雨に濡れることなく、気候もちょうどよい一日間でした。

初日は七時間ほどかけて、東北道から山形道を通り鶴岡市内を見学後、山形県湯の浜温泉をめざしました。道中、バスから見える山々には五月だというのにまだ雪が残っており、車内から歓声が上がりました。日本海に面して建つ、湯の浜ビュー海のホテルに着すると、早速大浴場へ。穏やかに広がる日本海を眺めながら、温泉を楽しみました。宴会では仲居さんの暖かいサービスで花笠音頭を教

えていただきました。第二部では、会員の戸上信さんによる泥鰌すくい「安来節」を拝見しました。その臨場感あふれる踊りは、まるでほんとうに泥鰌があはれているように、みんな大いに笑いました。また、コーラスサークルの中山義徳先生演奏によるタンゴの名曲に聞きほれ、先生の指導と伴奏で昔懐かしい歌をみんな元気よく歌いました。とても楽しい総会でした。

五月二六日(月)〜二七日(火)、杉並の三診療所友の会の合同旅行が、総勢三十七名の参加で行われました。出発時には不安定な空模様でしたが、結局雨に濡れることなく、気候もちょうどよい一日間でした。

（伊南美則）

「どじょうすくい」で大笑い

五月二六日(月)〜二七日(火)、杉並の三診療所友の会の合同旅行が、総勢三十七名の参加で行われました。出発時には不安定な空模様でしたが、結局雨に濡れることなく、気候もちょうどよい一日間でした。

（伊南美則）

「地域に出て活動しよう」と

五月二六日(月)〜二七日(火)、杉並の三診療所友の会の合同旅行が、総勢三十七名の参加で行われました。出発時には不安定な空模様でしたが、結局雨に濡れることなく、気候もちょうどよい一日間でした。

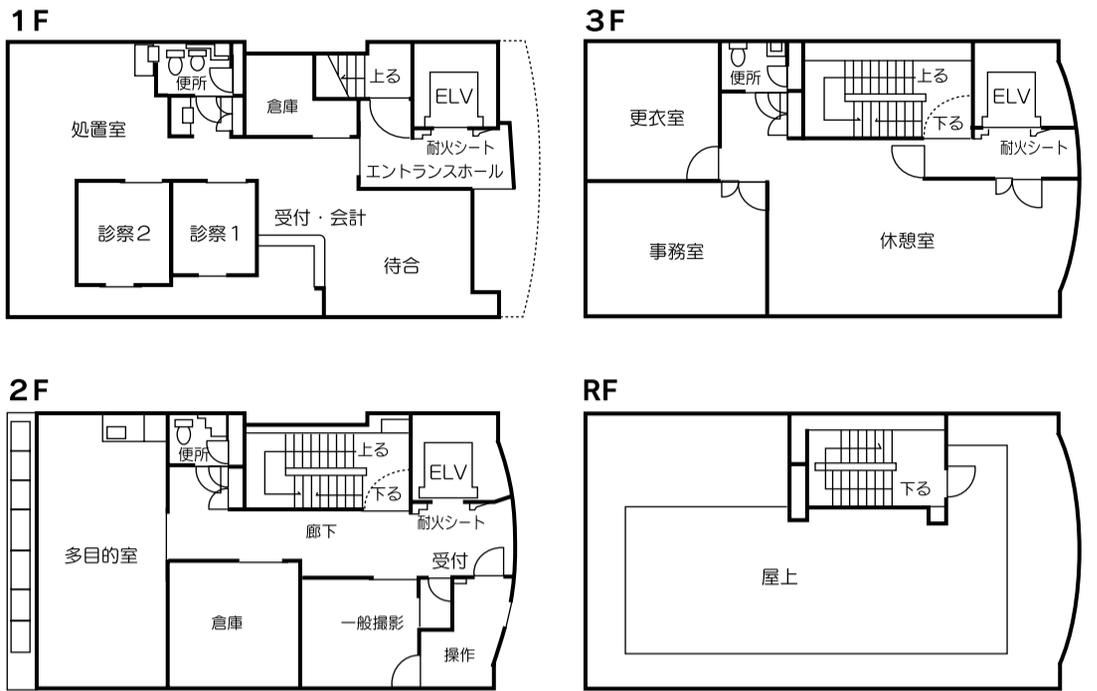
（伊南美則）

「地域に出て活動しよう」と

五月二六日(月)〜二七日(火)、杉並の三診療所友の会の合同旅行が、総勢三十七名の参加で行われました。出発時には不安定な空模様でしたが、結局雨に濡れることなく、気候もちょうどよい一日間でした。

（伊南美則）

新しいやまと診療所の 設計図ができました



知って得する 医療・福祉の制度 特養ホーム入所基準

介護保険の実施により、施設への入所が「措置」から「契約」に変わり、入所申し込みの窓口も各自治体から各施設へ直接申し込み方法に変わりました。

その結果、厚生労働省は「特別養護老人ホームの待機者が急増し、特養ホームへの入所の緊急性、必要性を要している

待機者が誰なのか判断し
がたい状態になってい
る」として昨年八月、特
養ホームの運営基準の改
正を行いました。それを
受けて東京都優先入所

をもとにするとしていま
す。「介護の必要度」をは
かる指標とは「要介護
度」と「痴呆等に伴う問
題行動の有無」で、「介

東京都が発表した優先 入所ガイドラインとは

に関するガイドラインを
発表し、四月から実施に
移しました。

ガイドラインは、優先
度を判定する指標として
「介護の必要度」と「介
護提供の環境や困難度」

を「介護の必要度」と「介
護提供の環境や困難度」
をはかる指標とは「介護
者の有無とその状況」
「介護を手伝う者の有
無」、「住宅の状況」で
これらを組み合わせて
点数化し、点数の程度に

よって第一次評価を行い
ます。判定結果の高い順
にABCの3ランクに分
類され、Aと判定された
場合にはじめて施設内の
入所検討委員会等で検討
され、施設長が入所の順
位を決定することになり
ます。

第一次評価でB、Cに
評価されると現状の待機
状況ではまず入所は困
難。また、優先度の高い
Aランクの要介護者で
も、現実には入所まで長
期間待機しないとけな
い状況には変わりありま
せん。(中野在宅ケアセン
ター 北原恵美子)

ことしの 新人 (追加)

医局 医師
武藤 恵美さん
(1976年1月12日生)

青葉調剤薬局 薬剤師
佐藤 寛子さん
(1980年10月7日生)

ちひる薬局 薬剤師
近藤 かよさん
(1975年9月19日生)

職員人事
採用(医師)
中野共立病院 瀧口 俊治
医師 桜山診療所 宮城陽太郎
所長
定年退職
健友会 菅井 一郎
看護部長 三浦 瞭子
退職(選択定年)
退職(選択定年)
健友会 末廣 進
専務理事

異動・就任
健友会 入江 徹
専務理事 橋詰 秀剛
総務部長 西湯道子
総務部次長 慶長のり子
看護部長代行 菅井 一郎
中野共立病院 藤原千鶴子
事務局長 荒井 均
中野共立診療所 西荻窪診療所
事務局長 志田 祐司

多田デイサービス
事務 鈴木 世子

短信
くるみ薬局が全日オ
ープンになりました
くるみ薬局が6月1日
から午後もオープンす
るようになりました。
天沼になごみ薬局が
できました
天沼診療所の前に、な
ごみ薬局ができました。
6月1日からオープンし
ています。



紹介 します すみれ薬局 の巻

気軽に話せ、信頼 される薬局に

すみれ薬局が東中野
銀座通りに開局してま
る六年になります。現
在は、常勤の山崎管理
薬剤師、肥田薬剤師
と、非常勤の錦織薬剤
師の三名で運営してい
ます。

桜山診療所にかかっ
ている患者さんの処方



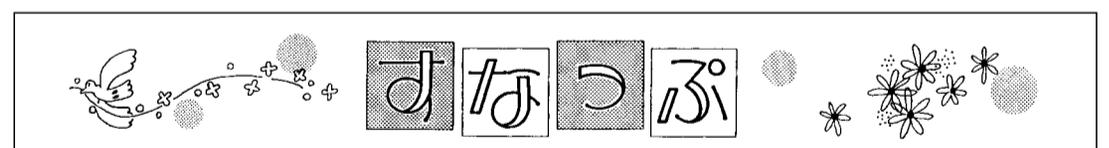
2階建ての民家を借りて1997年9月にオープンした。桜山診療所から徒歩2分の距離にある。

箋を受けていますが、
近隣の医療機関にかか
っている患者さんの薬
もたくさん調剤してい
ます。(全処方の一六
一七%)

薬の説明、介護保険
などについて気軽に話
せる薬局、明るく信頼
される薬局をめざして

また、訪問にも力を
入れています。桜山診
療所と連携し、診療所
へ来院できない患者さ
んのお宅へ薬を持参
し、薬の説明、注意す
ることについて話し、
服薬状況を把握するな
どの活動をしていま
す。(訪問件数は月四
〇〜五〇件)

(薬局長/山崎孝志)



新緑の昇仙峡・甲斐路へ
城西診療所友の会
五月二七日(火)、城西診療所の会は四
五名の参加で、新緑の昇仙峡・甲斐路
への日帰り旅行に行ってきました。

甲斐善光
寺では本
尊開帳の
年、阿弥陀
様のやさし
げな顔に心
をなごま
せ、怖くも
楽しい戒壇
まわり。昇
仙峡では小

雨にけがる溪谷美を眺め、影絵美術館
では童話の世界へと誘われ、ワイン工
場では酔いしれての楽しい一日でし
た。(小沼 進)

スマイルまじり健康チェック
中野共立病院 診療所友の会
六月七日(日)、「スマイル中野」全
館で中野区内のボランティア・福祉団
体などによるスマイルまじりが開催さ
れ、共立友の会は健康チェックと病院
ボランティア紹介で参加しました。

今回の健康チェックは、全日本民医
連五〇周年記念事業の一環としてと
くまね、新
人の二本医
師と阿達看
護師の健康
相談と血圧
・体脂肪測
定が大人気
でした。

また、ボ
ランティア
紹介ではい
つも友の会で行っている布切りボラン
ティア(入院患者の清拭用に木綿布20
cm角に切る作業)の体験が好評で、子
どもたちも喜んで参加。このコーナー
への参加者は二〇〇人を超え、病院ボ
ランティア希望者が六人もありまし
た。(武藤康子)

総会では、「地域に出て友の会活動
を広げていく」旨と協力して会員
の健康づくり、仲間づくりの活動を行
っていく」などが決められました。ま
た、役員交代もありました。二年間
役員を務められた吉田正子さんに代わ
って岡村昇さんが新役員になりました。

(中西 龍)

また、ボ
ランティア
紹介ではい
つも友の会で行っている布切りボラン
ティア(入院患者の清拭用に木綿布20
cm角に切る作業)の体験が好評で、子
どもたちも喜んで参加。このコーナー
への参加者は二〇〇人を超え、病院ボ
ランティア希望者が六人もありまし
た。(武藤康子)

二〇〇三年度

健友会友の会活動方針

二〇〇三年六月四日 二〇〇三年度健友会友の会総会

はじめに

(略)

二〇〇二年度の活動

1. 「安心して住み続けられるまちづくり」をめざして

二〇〇二年度総会では、「安心して住み続けられるまちづくり」をめざして医療・社会保障制度を守る活動、健友会と協力して地域住民の要求解決にとりくむ活動、平和と民主主義を守る活動、の三点を掲げました。

(1) 医療保障・社会保障制度を守る活動 (略)

(2) 健友会と友の会が協力して要求解決にとりくむ活動 (略)

(3) 平和と民主主義を守る活動 (略)

2. 健友会友の会の活動について

(1) 健友会友の会活動 私たちはこの一年、友の会を「安心して住み続けられるまちづくり」運動をすすめる「医療住民運動組織」へと発展させることをめざして活動をすすめてきました。

(2) 健友会友の会活動について

(1) 「健友」の手配り活動について

機関紙「健友」の手配り活動は、友の会の組織づくりの基本であると位置づけたりくんできました。三月二四日の幹事会では、「院所の枠を越えて、各友の会が責任をもつ地域に居住している友の会員に『健友』を手配りで届ける」活動に積極的にとりくむことが話し合われました。目標に向かって、さらに全友の

会員の意思統一をはかっていくことが必要です。

(2) やまと診友の会の入会金制への移行については、やまと診友の会だけでは会費制をとっていましたが、五月一七日のやまと診友の会総会として、幹事会方針の「入会しやすく、継続できる」友の会をめざす入会金制の意義をつけとめ、入会金制への移行を決めました。

(3) 友の会を担う人をつくる活動について

健友会友の会全体として活動は積極的になってきている一方、サークル活動、ボランティア活動などの中心メンバーの高齢化から活動の中断も起きています。また各院所友の会では総会を迎える中で会長や役員のみならず、会長・三役人事の確保に深刻な事態が起きています。

(2) 会員増やしと「いっしょ」の拡大

健友会友の会の現勢は、五、九九四世費九、四五四人です。「いつでも元気」の購読部数は、三三二部です。(いずれも二〇〇三年五月一

五日現在)

仲間増やし月間(一〇月～二月)を法人健友会と共同し、全体目標の一、五〇〇人にたいし二

六八世帯五〇三人、「いつでも元気」二五〇部の拡大にたいし、一五部増やしました。「東京民医連五〇周年記念入会金無料」のキャンペーン、各友の会の青空血圧測定活動や地域懇談会、外来アンケートと仲間ふやし声かけ待合室行動、商店街・患者訪問の地域行動が行われました。

ことしは多田デザイナービスセンターのヘルパーさんと利用者さんが二四世帯、五七人と多数入会されました。この方々の所属する友の会について対応が求められています。

(3) 幹事会、四役会、事務局について

幹事会は毎月第四月曜日の午後、定期開催されました。幹事会への幹事の出席数は平均一五人(二一人中)で、出席率は七一・四%です。

幹事会は、各友の会から活動報告を行い、総会方針の事業計画やその

時々の重点課題について討議、友の会全体でとりくむ課題を確認していきま

す。会議の運営については改善がはかられていますが、しかし、報告が多

(2) 四役会

四役会は第三月曜日の午後、定期開催されました。必要な時には臨時の四役会議が随時開催されました。

(3) 事務局

毎週月曜日の午前、事務局会議を開いています。

四役会・幹事会の活動を支える資料づくり、会員名簿の管理、各友の会への援助など、事務局活動の質的向上に努めてきました。今年度は各友の会の役員会に参加することができましたが、友の会活動の把握については十分にできませんで

た。法人組織部との意思統一を大切にしてください。

(4) 法人との協力・共同を強める活動

法人との定期協議の場として、毎月第二月曜日の「定期協議会」を重視してきました。定期協議会には、友の会からは四

役と各友の会の会長が出席することになっていましたが、実際は時間的に会長の出席はむずかし

く、毎回一～二人の出席にとどまりました。定期協議会の内容は、法人の経営問題、医療活動にか

かわる問題などが中心であることから、継続して出席しないとよくわから

ないということが起こります。したがって、今後は四役が責任をもって参加することにします。

「となつて、医師をはじめ医療技術者の後継者確保・養成活動はじめ、入職四・五年目合同研修(二月一三日～一四日)で「共同組織から職員に期待する」を語りました。また、恒例のクリスマス行事、健友会の「友の会健診」プロジェクトに参加しました。

(5) 法人との合同機関紙「健友」の月刊化をめざすとくみ

「健友」発行の意義の意思統一と、月刊化に向けての条件整備などについて幹事会、各友の会で検討がすすめられました。

三月二四日の幹事会では、「月刊化の課題は、情勢的にはその時期にきており、本格的にこの課題にとりくむには、友の会と健友会および各院所

管理部との協力・共同が必要であり、また各友の役員会においても引き続き検討を続ける必要がある」ことを確認しています。また、「健友配布

一覧」「健友手配り者」と手配り部数、「各院所友の会の活動地域」「中野・杉並地域の会員分布図」などの資料の検討と、実践課題として手配り活動地域の確認作業をすすめることになりました。

(6) 健友会友の会活動の年間行事

従来合宿形式を見直し、九月一八日、中野区立商工会館で一日形式の研修会を行いました。三

講座連続で、午前一〇時～午後四時の長時間研修となりました。四九人が参加し、内容は好評でしたが、「高齢者が多いから長い話は無理」など改善点が出されています。

(2) 友の会活動交流会

班づくり・役員運営などの組織活動、食事会活動、機関紙活動、ボランティア活動、サークル活動のいずれかの交流会を開く予定でしたが、実現しませんでした。

(3) 高齢者大会

第一六回日本高齢者大会(九月二～三日)は、杉並区内の友の会は地域実行委員会に参加し、また中野区内の友の会は独自の実行委員会を結成してとりくみました。健友会友の会として一〇〇人の参加目標でしたが、一日目七五人、二日目八人、のべ八三人の参加となりました。

(4) 第七回健友会友の会まつり

第七回健友会友の会まつりは、一一月二〇日の

「サークル活動発表会」(なかの芸能小劇場)と一一月二六～二七日の「趣味の作品展」(なかのゼロホール展示ギャラリー)に分けて行いました。

(2) 「サークル活動発表会」は、これまでの「芸能会的催し物」を見直し、サークル活動の活性化と新しいサークルの立ち上げを促すまつりとして位置づけられています。職員の出演参加もあ

つて全体的に盛り上がり、たいへん好評でした。「趣味の作品展」は展示場をなかのゼロホール展示ギャラリーに設けたことで、多くの出品がありました。

健友会との共催で「健友会まつり」を開こうという計画については、検討すべき課題が残されており、今年度は実現しませんでした。

(5) 健友会友の会主催「平和を考える旅」

九月二九(日)～一〇月一日(火)、「沖繩の平和・伝統文化を訪ねる旅」を行いました。参加者二九名でしたが、参加された方からはたいへん好評でした。

3. 各院所友の会の活動について (略)

情勢の特徴と私たちがのたたかい

(略)

2003年度の活動の重点課題

健友会友の会となつて、こととして五年目となります。

さらに、複数の病院・診療所に受診した方がそれぞれ

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

1. 強く大きい友の会づくり

(1) 友の会を地域に広める活動

(2) 友の会を担う人をつくる活動

(3) 会員・「いつでも元氣」を増やす活動

中野の郷などで利用者さんが増え、

も元氣」の拡大を日常的な活動としてとりくみます。

(1) 会員は「二〇〇五年までに友の会を病院一〇、〇〇〇人、診療所二、〇〇〇人にする」という健友会の目標を、ひきつづきめざしていきます。

(2) 「いつでも元氣」は当面五〇〇部の読者をめざし、病院は一〇〇部、診療所五〇部を目標とします。

(4) 役員・事務局体制を確立し、質的向上をはかる活動

(1) 幹事会

(2) 四役会

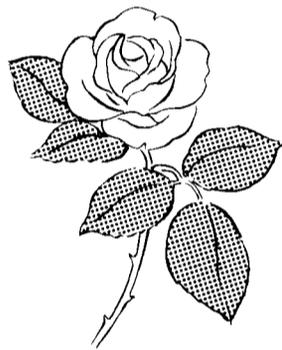
(3) 事務局

事務局の質的向上をはかり、健友会友の会の組織活動および諸活動を支える実務を行います。

2. 機関紙「健友」のとりくみの強化

機関紙「健友」は法人と友の会の合同機関紙です。法人の機関紙でもあり、私たち健友会友の会の機関紙でもあります。

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動



「武器」でもあります。また、法人や東医研・

(1) 機関紙「健友」を中心にした活動

「健友」の位置づけや発行の意義が、会員みんなの認識になるようなくみをも具体化します。

また、法人や東医研・

定期協議会を重視し、そこでの意見交換をふまえた協力・共同のとりくみをすすめます。

(2) 「健友」の手配り

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った

2003年度健友会友の会役員

Table listing the board members and staff of the organization for the year 2003. It includes positions like President, Vice President, Secretary, and Treasurer, along with their names and the names of the local branches they represent.

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った

「安心して住み続けられるまちづくり」運動について、地域の諸団体と交流・意見交換を行った